



Photostud

## THE NEW ZEALAND TROPHY

## 第43回 ニュージーランドトロフィー (GII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 54,000,000円	22,000,000円	14,000,000円	8,100,000円	5,400,000円
付加賞 994,000円	284,000円	142,000円		



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

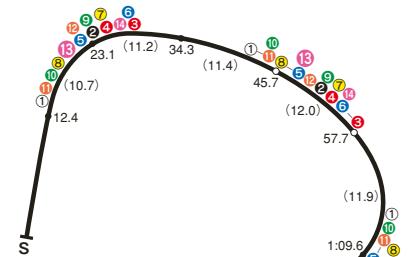
牡・牝、3歳  
負担重量 馬齢重量

2025.4.12 中山 晴・良 芝1600m (国際) (指定)

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1	⑯	イミグラントソング	牡 3	57	石川裕紀人	1:32.4	10-9-9	33.1	482(-4)	5.5②	辻 哲英(美浦)	111	
2	⑦	アドマイヤズーム	牡 3	57	川田将雅	クビ	4-4-3	33.9	476(+8)	1.7①	友道康夫(栗東)	110	
3	②	コートアリシア	牝 3	55	菅原明良	1¼	6-6-7	33.8	434(-6)	14.8⑤	伊藤大士(美浦)	103	
4	⑫	ブリティディーヴァ	牝 3	55	J.モーラ	ハナ	8-8-7	33.6	464(-10)	6.4③	田中博康(美浦)	103	
5	⑤	ミーントゥビー	牝 3	55	松岡正海	1¾	8-9-9	33.7	432(-6)	167.0⑩	堀内岳志(美浦)		
6	⑯	ストレイトトーカー	牡 3	57	大野祐弥	1	3-2-3	34.8	472(-6)	28.3⑧	岩戸孝樹(美浦)		
7	⑥	ルージュラナキラ	牝 3	55	岩田康誠	ハナ	2-2-2	34.9	468(±0)	14.5④	加藤征弘(美浦)		
8	⑨	ジェットマグナム	牡 3	57	三浦皇成	1½	6-6-5	34.6	486(+2)	41.0⑨	安達昭夫(栗東)		
9	④	ルナルーチェット	牝 3	55	横山武史	½	4-4-5	34.8	416(-8)	22.9⑦	国枝 実(美浦)		
10	⑧	シュバileyマサムネ	牡 3	57	田辺裕信	クビ	11-11-11	33.9	456(-6)	238.0⑨	杉山佳明(栗東)		
11	①	チャングク	牡 3	57	丸田恭介	1¼	14-14-14	33.4	476(+2)	220.2⑩	南田美知雄(美浦)		
12	⑩	ムイ	牝 3	55	今村聖奈	½	12-12-13	34.1	458(-2)	17.1⑥	笛田和秀(栗東)		
13	⑪	アラシシカドデニ	牡 3	57	吉田 豊	アタマ	13-12-11	34.0	504(-4)	141.6⑩	上原博之(美浦)		
14	③	ペイビーキッス	牝 3	55	原 優介	3	1-1-1	36.6	452(-4)	136.4⑩	青木季文(美浦)		

単勝⑯550円(2馬) 機動⑯150円(2馬) ⑦110円(1馬) ②220円(4馬) 枠連⑯⑧360円(1馬)

馬連⑯⑯430円(1馬) ワイド⑦-⑯240円(1馬) ②-⑯540円(5馬) ②-⑯350円(3馬)  
馬單⑯⑯1,320円(4馬) 3連複⑯-⑦-⑯1,060円(1馬) 3連単⑯-⑯-⑯5,740円(10馬)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
34.3 - 45.7 - 57.7 46.7 - 34.7

### アラカルト

- ・石川裕紀人騎手はニュージーランドトロフィー初勝利。JR A重賞は本年初勝利、通算10勝目
- ・辻哲英調教師はニュージーランドトロフィー初勝利。JR A重賞は本年2勝目、通算2勝目
- ・マクフィイ産駒はJR A重賞通算4勝目
- ・枠連360円、馬連430円、馬単1,320円、3連複1,060円、3連単5,740円は各式別における本競走の最低払戻金額
- ・イミグラントソング、アドマイヤズーム、コートアリシア  
ンはNHKマイルC (G I) に優先出走できる

# イミグラントソング Immigrant Song

牡 鹿毛 2022.4.24生

北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・吉田勝己氏 美浦・辻哲英厩舎  
馬名意味・移民の歌

シーズオールエルティッシュUSA系 F8-a

マクフィGB Makfi 鹿毛 2007	Dubawi 鹿毛 2002	Dubai Millennium
	Zomaradah	
	Dhelaal 鹿毛 2002	Green Desert
エルノルテ 鹿毛 2011		Irish Valley
	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘIRE
	シーズオールエルティッシュUSA 鹿毛 2005	Elish
		Shesabullwinkle

5代までのインブリード: Danzig S 4 × M5

## INTERVIEW

高見優也厩舎長(ノーザンファーム空港)

### 勝ち負けの競馬になると期待していました

最初に跨った時には緩が感じられました。急がないで進めていき、順調に調教メニューを消化してくれました。当時はダート向きの馬かもしれないと思っていたので、デビューしてから芝であれだけ切れる脚を使ってくれたことは驚きました。初の重賞挑戦でメンバーが揃いましたが、これまでのレースを見て勝ち負けの競馬になると期待していました。



NHKマイルCのトライアル・ニュージーランドドロフィーを、朝日杯フューチュリティSの覇者が勝った例は2000年(当時は朝日杯3歳S)のエシングプレストンが最初で最後。2歳マイル王はクラシックへ進むケースが多く、近年は出走自体も少ないうそ因に挙げられる。とはいっても今年はアドマイヤズームがここを始動戦に選び、"四半世紀のブランク"に終止符を打てるかが焦点に。圧倒的な支持(単勝1・7倍)を背負い、勝利まであと一歩と迫った同馬だが、その前には打倒候補の筆頭格と目されていたイミグラントソングが立ちはだかた。

内枠から勢よく飛び出し、先手を直線、馬場の真ん中に進路を取ったアドマイヤズームは坂下で先頭に立ち、押し切りを狙つたが、その外へ持ち出されたイミグラントソングはこれを凌駕する末脚を發揮。2歳マイル王をキツリと捉えて、ゴールに飛び込んだ。マクフィ産駒の本馬はデビューカー2戦目の未勝利戦を5馬身差で圧勝、暮れのひいらぎ賞(でもレコード)で逃げ切つたデンクマールに詰め寄り(2着)、素の高さをアピールした。年明け初戦の1勝クラス戦はスローの瞬発力勝負が合わなかつた印象で3着に敗れたものの、"ベースが流れた"重賞で鮮やかに変身。及第点の走りは見せた2歳マイル王を鋭く差し切り、本番の有力候補に名乗りをあげた。

### 父マクフィ GB

英、仏6戦4勝(英2000ギニーG1、ジャックルマロワ賞・仏G1、ジェベル賞・仏G3)、11年から英、新、仏、日で供用

〔代表産駒〕ボヌヴァル Bonneval(ATCオーケス・豪G1)、ニュージーランドオーケスG1、アンダーウッドS・豪G1)、メイクビリーヴ Make Believe(仏2000ギニーG1、仏G1)、マクファンシー Mlfancy(クリテリウムドサンクルー・仏G1)、ソフィアローヴ Sofia Rosa(ATCオーケス・豪G1)、マークマーク Marky Mark(マナワツサイヤーズプロデュースS・新G1)、ニードルアンドスレッド Needle And Thread(ロイヤルS・新G2)、エクスピット Expat(ATCミリーフォックスS・豪G2)、イミグラントソング(本馬)、オールアットワーンズ(アイビスサマーダッシュG32回)、他に重賞勝ち馬多数

### 母エルノルテ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央26戦3勝

グランエスペランサ(18 牝父ルーラーシップ)中央3戦0勝、地方4戦0勝  
リーセフィヨルド(19 牝父ハービンジャーGB)中央6戦0勝、地方29戦1勝(20 不受胎)

ハットルグリムス(21 牝父モーリス)中央2戦0勝

イミグラントソング 本馬(22 牝父マクフィGB)中央5戦2勝(ニュージーランドドロフィーGII)獲得総賞金67,974,000円

エルナト(23 牝父レイデオロ)

(24 牝父オーランド)

### 祖母シーズオールエルティッシュUSA

北米3勝(ボニーミスS G2、ブラックアイドスザーンS G22着、デラウェアオーケスG23着、ジュディーズレッドシューズS 3着)、09年輸入

アドマイヤオウジャ(10 牝父ディープインパクト)中央4勝(比良山特別、万両賞)

エルノルテ(11 前出)

アドマイヤロワ(12 牝父ディープインパクト)中央1勝

エルビッシュ(13 牝父キングカメハメハ)中央3勝(脊振山特別、白梅賞)、トルキン(2009年(かさぎ賞)、ブルーサンセット(ききょうS 2着)の母)

アントリューズ(16 牝父ロードカナロア)中央3勝(江の島特別、ベゴニア賞)

ジャングルキング(18 牝父ドゥラメンテ)中央2勝、地方2勝

サトノアインス(21 牝父ニューアイザーズデイUSA)中央2勝(2021年)

## 2歳マイル王を差し切り重賞初制覇

NHKマイルCのトライアル・ニュージーランドドロフィーを、朝日杯フューチュリティSの覇者が勝った例は2000年(当時は朝日杯3歳S)のエシングプレストンが最初で最後。2歳マイル王はクラシックへ進むケースが多く、近年は出走自体も少ないうそ因に挙げられる。とはいっても今年はアドマイヤズームがここを始動戦に選び、"四半世紀のブランク"に終止符を打てるかが焦点に。圧倒的な支持(単勝1・7倍)を背負い、勝利まであと一歩と迫った同馬だが、その前には打倒候補の筆頭格と目されていたイミグラントソングが立ちはだかた。内枠から勢よく飛び出し、先手を符を打てるかが焦点に。圧倒的な支持(単勝1・7倍)を背負い、勝利まであと一歩と迫った同馬だが、その前には打倒候補の筆頭格と目されていたイミグラントソングが立ちはだかた。

逃げたベイビーキッスの脚勢は勝負どころで鈍り、すかさず好位勢が接近。石川騎手も徐々に位置を上げ、前を射程に収めて4コーナーを回る。迎えた脚を温存した。

一時は5馬身余りのリードをつけて逃げたベイビーキッスの脚勢は勝負どころで鈍り、すかさず好位勢が接近。石川騎手も徐々に位置を上げ、前を射程に収めて4コーナーを回る。迎えた脚を温存した。

ドマイヤズームは坂下で先頭に立ち、押し切りを狙つたが、その外へ持ち出されたイミグラントソングはこれを凌駕する末脚を發揮。2歳マイル王をキツリと捉えて、ゴールに飛び込んだ。マクフィ産駒の本馬はデビューカー2戦目の未勝利戦を5馬身差で圧勝、暮れのひいらぎ賞(でもレコード)で逃げ切つたデンクマールに詰め寄り(2着)、素の高さをアピールした。年明け初戦の1勝クラス戦はスローの瞬発力勝負が合わなかつた印象で3着に敗れたものの、"ベースが流れた"重賞で鮮やかに変身。及第点の走りは見せた2歳マイル王を鋭く差し切り、本番の有力候補に名乗りをあげた。